

発行 車体発23第129号
2023年5月29日

2023年度 車体業界の見通し

昨年度を振り返りますと先日のG7広島サミットの首脳宣言にも在りましたが

- ・新型コロナウイルス感染症の影響
- ・不安定な世界情勢による燃料・原材料価格の高騰
- ・サプライチェーンの混乱などにより、身近な生活にまで影響が出ました。

国内商用車市場におきましても、貨物車が毎月前年比マイナスで推移するなど、会員の皆様におかれましては、大変ご苦勞されたのではないかと思います。

この様な中、当会では

- ・カーボンニュートラルへの対応
- ・安全対応活動の推進
- ・環境対応自主取組みの推進
- ・中小企業支援活動の推進
- ・活性化活動の継続推進

の5項目を「主要項目」と位置づけ、対面での活動も再開させながら取り組んで参りました。皆様のご支援、ご協力のもと成果をあげる事が出来たと考えております。

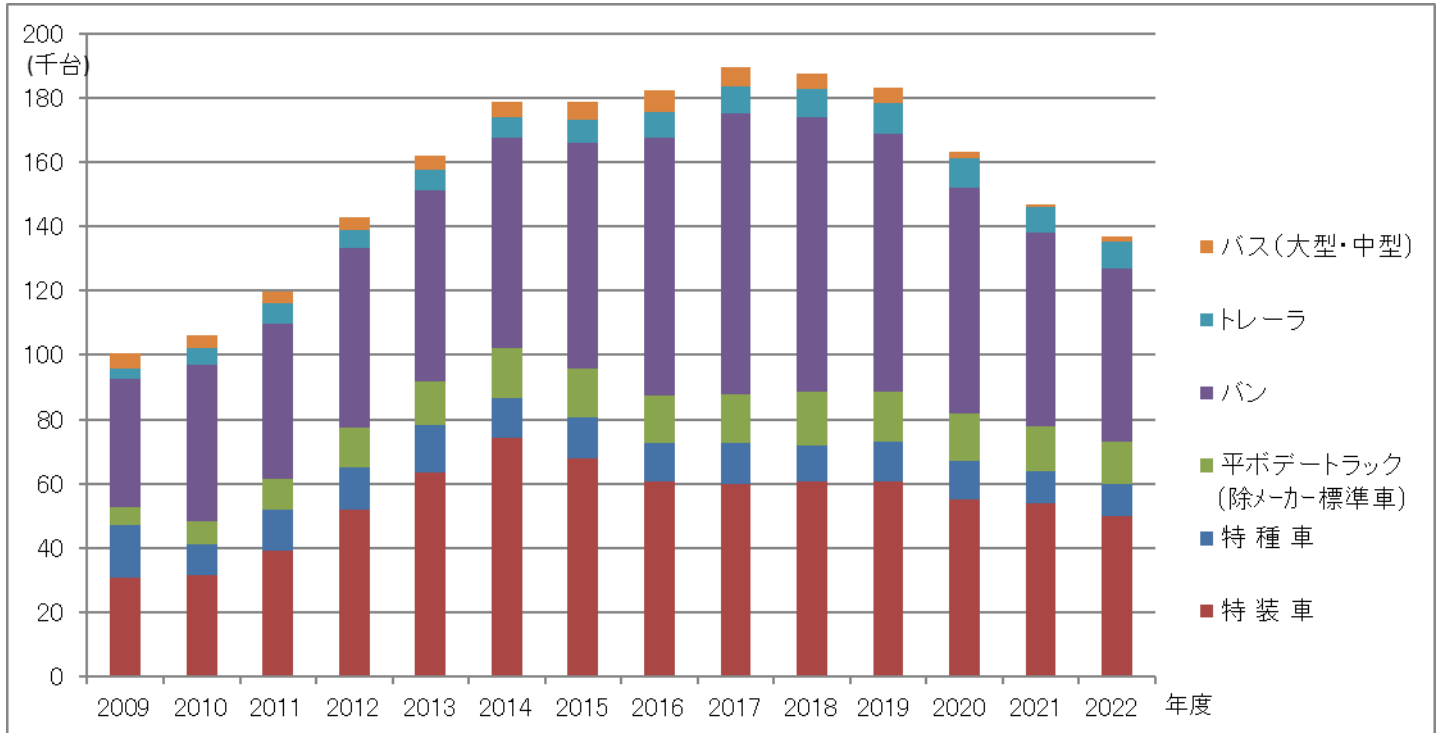
また、私自身、これら諸活動を通じて会員の皆様と直接お会いし、「つながる」大切さ「会員の皆様のご苦勞」を再認識した1年でした。

今年度の取巻く環境を見ますと、日本経済は回復基調が期待される一方、依然として不安定な世界情勢に留意が必要な状況です。

この様な中、引続き、「働くクルマ」を通じて社会を支え、皆様の生活の向上に貢献し続けて行く為に、「つながり」と「会員の皆様の声」を大切に、メーカーの垣根を越え、互いの多様性を尊重し、業界として想いを一つに皆様と共に行動して行きたいと思っております。

(5月26日 日本自動車車体工業会通常総会での宮内会長挨拶より)

<図1 当会特有の車体生産台数実績>



	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
特装車 ※1	30,609	31,725	39,175	51,909	63,387	74,058	67,722	60,816	60,065	60,561	60,790	55,128	53,708	49,882
特種車 ※2	16,461	9,299	12,577	13,285	14,683	12,664	12,845	11,632	12,438	11,406	12,085	11,805	9,959	10,071
平ボデートラック (除メーカー標準車)	5,618	7,317	9,734	12,044	13,653	15,318	15,232	15,050	15,435	16,679	15,563	14,761	14,077	13,004
バン	39,705	48,776	48,438	56,154	59,637	65,576	70,130	80,248	87,084	85,266	80,484	69,878	59,730	53,764
トレーラ	3,545	5,160	6,207	5,575	6,208	6,394	7,197	7,680	8,487	8,732	9,437	8,675	8,178	8,383
バス (大型・中型)	4,491	3,958	3,489	3,950	4,222	4,582	5,505	6,865	5,930	4,825	4,890	1,897	1,413	1,864
計	100,429	106,235	119,620	142,917	161,790	178,592	178,631	182,291	189,439	187,469	183,249	162,144	147,065	136,968

※1 特装車：ダンプ車、トラックミキサ車、塵芥車 等

※2 特種車：車いす移動車、警察車、医療防疫車 等

詳細については、当会ホームページを参照願います。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会 事務局 小森

一般社団法人 日本自動車車体工業会 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館15階
TEL (03)3578-1681 <http://www.jabia.or.jp/>